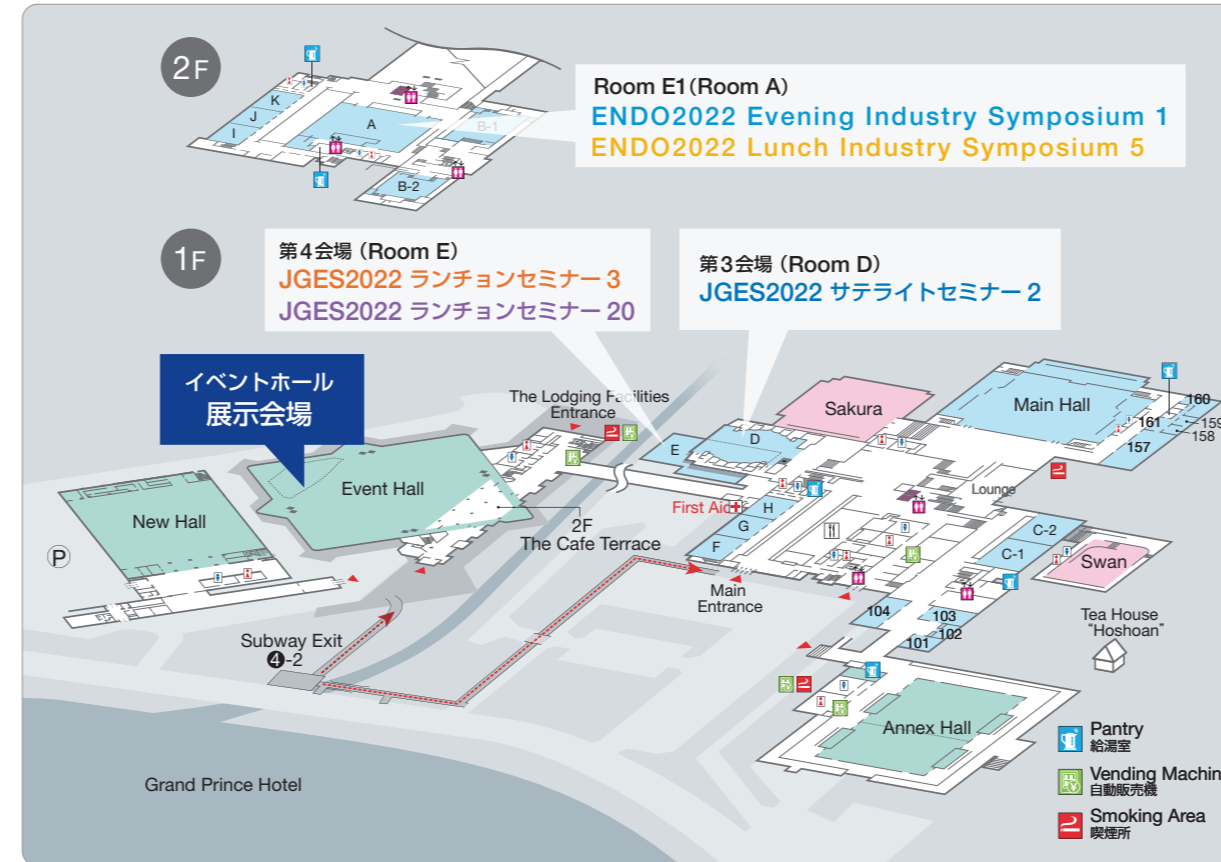


5/13 (金)	11:00 } 11:50	JGES2022 ランチョンセミナー3 会場：第4会場(国立京都国際会館 1階 Room E)
		新型高周波の可能性 ~日帰りから入院治療まで~ 【司会】大園 研 先生 (NTT東日本関東病院 消化管内科) 【演者】今井 健一郎 先生 (静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科) 【演者】池原 久朝 先生 (北里大学医学部 消化器内科学)
5/13 (金)	18:00 } 19:30	ENDO2022 Evening Industry Symposium 1 Venue: Room E1 (2F Room A)
		Elevating the Standard of Colonoscopy with Cutting Edge Technologies 【Chair】Takahisa Matsuda (Toho University Omori Medical Center) 【Chair】D Nageshwar Reddy (Asian Institute of Gastroenterology) 【Spaeker】Naoto Tamai (The Jikei University School of Medicine) 【Spaeker】Masashi Misawa (Showa University Northern Yokohama Hospital) 【Spaeker】Yutaka Saito (National Cancer Center Hospital) 【Spaeker】Naohisa Yahagi (Keio University School of Medicine)
5/14 (土)	12:00 } 12:50	ENDO2022 Lunch Industry Symposium 5 Venue: Room E1 (2F Room A)
		Cutting Edge Technologies for New Standard of Upper Gastrointestinal Endoscopy 【Chair】Mitsuhiro Fujishiro (The University of Tokyo) 【Spaeker】Ryu Ishihara (Osaka International Cancer Institute) 【Spaeker】Philip Chiu (The Chinese University of Hong Kong)
5/14 (土)	18:00 } 19:40	JGES2022 サテライトセミナー2 会場：第3会場(国立京都国際会館 1階 Room D)
		胆膵エキスパートに求められるもの ~No Basic, No Success!~ 【司会】安田 一朗 先生 (富山大学 第三内科) 【司会】糸井 隆夫 先生 (東京医科大学 臨床医学系 消化器内科学分野) 【演者】竹中 完 先生 (近畿大学 医学部 消化器内科) 【演者】岡野 直樹 先生 (東邦大学医療センター大森病院 消化器内科) 【演者】岡部 義信 先生 (久留米大学 消化器内科) 【特別発言】五十嵐 良典 先生 (東邦大学医療センター大森病院 医学部)
5/15 (日)	11:20 } 12:10	JGES2022 ランチョンセミナー20 会場：第4会場(国立京都国際会館 1階 Room E)
		スパイラル内視鏡で攻略する小腸疾患へのアプローチ 【司会】緒方 晴彦 先生 (慶應義塾大学医学部 内視鏡センター) 【演者】細江 直樹 先生 (慶應義塾大学医学部 内視鏡センター) 【演者】大塚 和朗 先生 (東京医科歯科大学病院 光学医療診療部)



展示ブースのご案内

消化管診断・スクリーニング

消化管/胆膵治療処置具

ICTソリューション

オリンパス展示ブースでは新製品を中心に診断から治療までの様々なラインアップを展示しております。ハンズオンにて各種製品をご体感いただけます。

最新内視鏡室ソリューション

オリンパスでは環境整備による検査の運用効率向上のため、新築築設時に内視鏡室・透視室のレイアウト相談と設備提案を行っております。展示ブースでは天井懸架機器、マルチ画面表示(過去所見、AI、アノテーション等)、ブルーライト照明、内視鏡室モニタリングシステムを展示します。当日、模擬展示エリアではご説明・ご相談コーナーを設けております。弊社専門スタッフがご案内致しますので下記フォームより事前予約の申し込みをお願いします。

>>> [ご相談・展示案内のご予約はこちら](#)

オリンパス展示ブース 関連イベントのご案内

学会会期：2022.5.13(金)～15(日)
会場：国立京都国際会館 ※Web配信あり



第103回日本消化器内視鏡学会総会 ENDO2022

OLYMPUS 特設サイトのご案内

サイト掲載内容

学会期間中のOLYMPUSイベント情報の案内や出展製品の情報

サイトオープン期間

2022.5.15(日)まで



JGES2022 ランチョンセミナー3

新型高周波の可能性 ～日帰りから入院治療まで～

消化管領域の内視鏡的治療は技術や機器の発展に伴い日々進歩してきました。従来であれば入院対応をしていた様なケースでも、今日では無床診療所等を含めて日帰りで行う事も増えています。一方で安全・効率的な治療のためには、適切なデバイス選択・機器設定が重要です。本セミナーでは、ポリペクトミー及びESDにおける高周波電源装置ESG-150の使用経験と臨床上的の特長や設定ポイントについて、治療戦略を交えてエキスパートの先生方よりご講演いただきます。



司会
大園 研 先生

日 時 2022年5月13日(金) 11:00～11:50
会 場 第4会場(国立京都国際会館 1階 Room E)
司 会 NTT 東日本関東病院 消化管内科 大園 研 先生



今日から使える
コールド時代の安全で簡便な
ホットポリペクトミー

演 者
静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科
今井 健一郎 先生

コールドポリペクトミーは簡便で組織侵襲も少ないため、10mm未満の大腸ポリープに対する内視鏡的切除手技として急速に普及してきており、多くの施設で導入されています。その反面、短所も明らかとなっており、手技の選択に当たり正しい知識がますます求められています。今井先生にはコールド及びホットポリペクトミーにおける基礎知識、内視鏡治療戦略から最新の手技について詳しくご講演いただきます。



ESDにおける
新型高周波電源装置の使用経験

演 者
北里大学医学部 消化器内科学
池原 久朝 先生

内視鏡治療において、安全かつ多様な手技に対応できる高周波電源装置の性能が求められます。ESDは高難度の手技であり、設定がシンプルで切除・止血性能に優れた高周波電源装置は術者・介助者の負担を軽減できます。池原先生には『高周波テクノロジーをシンプルに』というコンセプトのもと開発された、ESG-150のESDにおける使用経験や設定のコツについて詳しくご講演いただきます。

JGES2022 ランチョンセミナー20

スパイラル内視鏡で攻略する小腸疾患へのアプローチ

2000年代に登場したバルーン式内視鏡の登場により、小腸深部への内視鏡の挿入が可能となり、小腸は観察・治療ができる臓器となりました。しかし、依然として挿入テクニックの難易度や検査時間の長さが課題となっています。このような課題を解決すべく、オリンパスは長年の研究を経て電動回転式スパイラル小腸内視鏡PowerSpiralを導入しました。本セミナーでは、PowerSpiralについて、標準的検査方法や有用性、各施設での工夫についてを小腸のエキスパートの先生方よりご講演いただきます。



司会
緒方 晴彦 先生

日 時 2022年5月15日(日) 11:20～12:10
会 場 第4会場(国立京都国際会館 1階 Room E)
司 会 慶應義塾大学医学部 内視鏡センター 緒方 晴彦 先生



スパイラル内視鏡はこう使う
～ 経肛門による使用経験から ～

演 者
慶應義塾大学医学部 内視鏡センター
細江 直樹 先生

PowerSpiralは既に欧州、一部アジア地域において先行して導入がされておりますが、症例のほとんどが経口アプローチがメインであり、経肛門アプローチについて言及された論文は多くありません。細江先生には、経肛門アプローチによる検査の実際について、使用経験や操作のコツを詳しくご講演いただきます。



リアルワールドのスパイラル内視鏡
～ 鎮静から挿入のコツまで ～

演 者
東京医科歯科大学病院 光学医療診療部
大塚 和朗 先生

PowerSpiralはスパイラル形状のフィンを有したオーバーチューブを装着し、小腸を手繰り寄せることで小腸深部への挿入をサポートする従来の内視鏡とは全く異なる挿入法が求められます。海外では多数の論文や使用経験が報告されていますが、実際の検査方法はどのようなものなのでしょうか。大塚先生には、実際の使用経験をもとにPowerSpiralのリアルワールドについて詳しくご講演いただきます。

JGES2022 サテライトセミナー2

胆膵エキスパートに求められるもの

～ No Basic, No Success ! ～

ERCPは、およそ半世紀の時を経て、消化管内視鏡診断・治療において非常に大きな役割を果たすようになりました。その歴史を通じて様々な手技やデバイスが生み出され、今日ではスタンダードな治療戦略・テクニックとして広く普及しております。またその一方で、蓄積された知見やノウハウを持って克服すべき、不変の課題も確かに存在すると考えられます。本セミナーでは、初学者の先生から熟練された先生までERCPの各手技においてまず習得すべきベーシックなスキルから、手技上のコツ、デバイス選択の考え方、最新の知見まで、各分野のエキスパートの先生方にご講演いただきます。

日 時 2022年5月14日(土) 18:00～19:40
会 場 第3会場(国立京都国際会館 1階 Room D)
司 会 富山大学 第三内科 安田 一朗 先生
東京医科大学 臨床医学系 消化器内科学分野 糸井 隆夫 先生
特別発言 東邦大学医療センター大森病院 医学部 五十嵐 良典 先生



司会
安田 一朗 先生



司会
糸井 隆夫 先生



特別発言
五十嵐 良典 先生



これで完璧！
胆管挿管の基本とコツ
～最新技術がもたらすベネフィット～

演 者
近畿大学 医学部 消化器内科
竹中 完 先生

胆管挿管は、ERCPにおいて避けて通ることのできない最初の関門であり、治療の成否を大きく分ける非常に重要な手技と言えます。実臨床において、1つとして全く同一の乳頭は存在せず、それでも可能な限り胆管挿管を安全かつ確実に行うために、様々な手法が確立され、多種多様なデバイスが登場してきました。竹中先生には、先生ご自身の治療戦略も踏まえて、胆管挿管において改めて押さえておきたい基本技術や手技のコツ、最新の知見も含めてご講演いただきます。



困った時のデバイス選択と
トラブルシュート
～困難結石編～

演 者
東邦大学医療センター大森病院 消化器内科
岡野 直樹 先生

胆管結石治療は内視鏡治療の標準的な手技の一つとして位置づけられていますが、手技の進歩や新たなデバイスの登場によってその治療戦略は日々更新されており、従来は内視鏡的治療が困難であった症例に対しても、現在では様々な内視鏡的アプローチがなされ、広く普及しております。岡野先生には、特に困難結石に対するアプローチ方法を中心に、最新の治療戦略やデバイス選択のコツ、手技上の注意点なども含めて、ご自身の経験も踏まえ、ご講演いただきます。



胆道ドレナージの基本戦略と
トラブルシュート

演 者
久留米大学 消化器内科
岡部 義信 先生

近年、内視鏡的胆道ドレナージ領域は多様な手技、多数のデバイスが存在していますが、病態に応じた適切なデバイスの選択が改めて重要であると考えられます。岡部先生には、ERC下胆道ドレナージにおける基本戦略を改めて整理して解説いただくとともに、各デバイスを適切に使い分けるための押さえるべきポイントを解説いただきます。また、先生ご自身の経験も踏まえたトラブルシュートの実際についてご講演いただきます。

ENDO2022 Evening Industry Symposium 1

Elevating the Standard of Colonoscopy with
Cutting Edge Technologies

Date May 13 Fri. 2022 18:00-19:30
Venue Room E1 (2F Room A)
Chair Toho University Omori Medical Center
Takahisa Matsuda
Asian Institute of Gastroenterology
D Nageshwar Reddy



Chair
Takahisa Matsuda



Chair
D Nageshwar Reddy



Potential of IEE for
Improving Colorectal
Polyp Detection

Spaeker
The Jikei University School of Medicine
Naoto Tamai



Detection and Diagnosis
with AI

Spaeker
Showa University Northern
Yokohama Hospital
Masashi Misawa



Potential of a New
Colonoscope for JNET
and Pit pattern classification

Spaeker
National Cancer Center Hospital
Yutaka Saito



Latest Trends in Treatment
for Colorectal Lesions

Spaeker
Keio University School of Medicine
Naohisa Yahagi

ENDO2022 Lunch Industry Symposium 5

Cutting Edge Technologies for New Standard of
Upper Gastrointestinal Endoscopy

Date May 14 Sat. 2022 12:00-12:50
Venue Room E1 (2F Room A)
Chair The University of Tokyo
Mitsuhiro Fujishiro

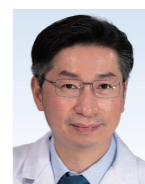


Chair
Mitsuhiro Fujishiro



New Endoscopes for
Detection and Diagnosis
of Esophageal Cancer

Spaeker
Osaka International Cancer Institute
Ryu Ishihara



Application of New
Technologies for Treatment
of Esophageal Diseases

Spaeker
The Chinese University of Hong Kong
Philip Chiu